

発表日 2026/09/18
タイトル 県立看護専門学校看護2学科の閉科について
担当 健康福祉部 医療局医療人材課
連絡先 看護師確保班
TEL 054-221-2407



1 概要

静岡県立看護専門学校は、近年、助産学科を除いて定員が充足できない状況が続いていることから、県では、令和7年4月に「静岡県立看護専門学校魅力づくり検討会」を設置し、看護1学科の魅力向上方策や看護2学科の今後の在り方の検討を進め、令和8年5月18日、同検討会より提言を受けました。

本提言において、看護2学科は、准看護師減少等を考慮し閉科が望ましいとされたことを踏まえ、県における検討や学校関係者、関係機関等との調整を行い、令和10年度末をもって閉科いたします。

また、閉科に合わせ、准看護師の看護師資格取得を支援するため、准看護師の県外通信制課程への就学に対する支援など、代替策を検討します。

なお、看護1学科は、引き続き魅力向上と入学者の確保に取り組めます。

2 静岡県立看護専門学校の概要（所在地：駿東郡清水町）

学科名	看護1学科	看護2学科	助産学科
定員	80人	40人	10人
受験資格	高校卒業程度	准看護師 (高校卒業程度等)	看護師学校養成所 卒業の女子
修業年数	3年	2年	1年
取得可能資格	看護師		助産師

3 静岡県立看護専門学校定員充足率等

区分	内容					
1学科 定員80人	入学年度	R4	R5	R6	R7	R8
	受験者数	145人	113人	79人	71人	99人
	入学者数	48人	53人	46人	58人	59人
	定員充足率	60.0%	66.3%	57.5%	72.5%	73.8%
2学科 定員40人	入学年度	R4	R5	R6	R7	R8
	受験者数	7人	2人	4人	8人	7人
	入学者数	3人	2人	3人	4人	4人
	定員充足率	7.5%	5.0%	7.5%	10.0%	10.0%

助産 学科 定員10人	入学年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
	受験者数	49人	39人	38人	34人	28人
	入学者数	9人	9人	10人	10人	10人
	定員充足率	90.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4 静岡県立看護専門学校魅力づくり検討会の概要

(1) 静岡県立看護専門学校魅力づくり検討会構成員（14人）

委員長 川合 耕治（伊東市民病院管理者）

委員 病院、県・郡市医師会、県看護協会、高校、看護師等養成所関係者

(2) 検討会開催状況等

回 次		開催日等	内 容
R 7	第 1 回	令和 7 年 6 月 18 日	現状確認、論点整理
	第 2 回	令和 7 年 11 月 26 日	看護 1 学科の魅力向上策、看護 2 学科の在り方
	第 3 回	令和 8 年 3 月 16 日	魅力づくりのための提言案に係る協議
R 8	—	令和 8 年 5 月 18 日	魅力づくりのための提言（県に提出） 【看護 1 学科】 「教育力の強化」「特色ある学校づくり」 「多様な入学方法の提供」「情報発信の強化」の提案 【看護 2 学科】 ・ 准看護師減少等を考慮し閉科することが望ましい。 ・ 看護の質向上の観点からも准看護師が県外通信制課程に進学するための支援策を講じることが望まれる。
	第 1 回	令和 8 年 6 月 17 日	提言を踏まえた具体的な取組の検討
	第 2 回	令和 9 年 3 月 予定	提言に基づく取組の報告、今年度入試状況の報告

5 看護 2 学科の閉科

(1) 閉科に至った状況

平成29年度の小田原看護専門学校（神奈川県小田原市）（准看護師養成所）廃止以降、全国的な准看護師養成所の廃止、准看護師減少の中で、看護 2 学科入学者は大幅に減少しており今後も回復は見込めない。また、静岡県立看護専門学校は県内唯一の准看護師養成所のある浜松から遠く、通学の難しさから近年同校卒業の入学者は数名に留まっている。

このような中、検討会からの提言を受けた上で、学生及び教職員、同窓会長等学校関係者に看護 2 学科の閉科について説明したところ異論がなく、関係機関の同意も得られたことから、令和 9 年度入学生を最後の受け入れとし令和10年度末をもって閉科するものである。

【看護２学科の定員充足状況】

(単位：人)

入学年度	H29	H30	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
受験者数	26	18	12	9	9	7	2	4	8	7
合格者数	18	11	7	6	4	4	2	3	6	4
入学者数	12	10	5	6	1	3	2	3	4	4
定員充足率 (%)	30	25	12.5	15	2.5	7.5	5	7.5	10	10

(２) 准看護師の進学支援策

看護２学科を閉科した場合、県内に准看護師が看護師資格を取得できる養成所がなくなることから、看護の質向上の観点からも、閉科に合わせ、准看護師の看護師資格取得を支援するため、准看護師の県外通信制課程への就学に対する支援など、代替策を検討する。

《参考》 今後の看護１学科の取組

区分	主な内容
教育力の強化	・ 必要教員数の精査や配置を検討し、教育力を強化する。
特色ある学校づくり	・ 助産学科への内部推薦による進学制度の検討や大学等に対する連携に関する調査などを行い、特色ある学校づくりを進める。
多様な入学方法の提供	・ 社会人入試等を実施している学校を調査し、入試実施方法について検討する。
情報発信の強化	・ 東部地区の全高校訪問や、SNSの活用等を実施する。